

令和３年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報 告 書



日時	令和３年 10 月 26 日（火）18：30～		
場所	麓郷集落センター		
参加者数	15 人		
市側出席者	市長	北	猛俊
	副市長	石井	隆
	総務部長	稲葉	武則
	スマートシティ戦略室長	西野	成紀
	市民生活部長	山下	俊明
	保健福祉部長	柿本	敦史
	経済部長	川上	勝義
	建設水道部長	小野	豊
	教育部長	亀渕	雅彦
	企画振興課長	関澤	博行

【市長 開会のあいさつ】

麓郷集落センターの懇談会に、麓郷地区と布礼別地区のみなさんにお集まりをいただき、心から感謝を申し上げます。この地区の懇談会は、毎回多くの皆さんに集まっていますが、今回は人数制限がある中お集まりいただき、重ねてお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が発症して 2 年近くになりますが、市民の皆様にも不便な生活を過ごされてきたと思います。麓郷地区でも様々なイベントが中止となり、周年事業も中止となりました。今後とも、行政運営にご協力いただき、地域振興にご尽力を賜れば幸いです。

本日の意見交換は意見交換が大半ですが、J R 関係と A I を利用したオンデマンド交通ということで、市街地を中心とした実証実験の関係を説明し、意見交換したいと思っています。また、未来をつくらうということでは、オンデマンド交通のほかに光回線の整備が大きな課題でしたが、デジタル化と I C T 活用ということで取り組みを進める中、基本になるのは情報通信回線です。すでに工事は始まっていますが、取りまとめの結果、光回線の整備は 340km となっています。時間を要することになりますが、もうしばらくお待ちいただければと思います。

また、それに合わせて、様々な取り組みも企画しています。市内では保育所の関係でソフトを入れ、子どもの登園や教育の進捗、健康管理を保育所と保護者の方々がスマホで情報交換ができるというシステムです。これに準じて、高齢者の見守りもありますが、音声で利用できるものを導入したいと考えています。これ以外にも、様々なデジタル化に向け、いわゆるスマートシティに向けた取り組みを示させていただきますが、導入の際には皆さんの意見をいただきながら、より利便性が良く、使いやすい、活用しやすいものにしていきたいと思っています。

本日は情報交換ということですが、地域が抱える課題や普段の行政運営の中での疑問や要望など、小さなことでも出していただき、実りある懇談会にしたいと思っています。

【懇談会の意見と回答】

学校

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○布礼別小学校の校舎の屋根について、来年度閉校することが決まっている中で、現状を調査しているのか聞きたい。	○布礼別小学校の屋根の確認をしています。塗装がなくなり下地が見えている状態です。令和 5 年 3 月に閉校することが決まっていることから、学校整備は他校を優先して実施している状況です。

自治会

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○麓郷は 100 周年を迎える大きな節目の年。記念事業の実行委員会を立ち上げ、市からの助成もあり感謝している。この集落センターは、地域の拠点として様々な活動をする場。特に老人クラブを中心に元気なご年配が大勢集って活動をしている。しかし、緊急事態宣言が発令されてセンターが閉館となった。ようやく使えるようになったが、人が集う場所や店舗では体温を測る温度センサーと消毒液が設置されているのが当たり前になっている。安心して施設を使ってもらえるように、消毒液付きの温度センサーを寄贈させてもらった。地域でできるところは自分たちでやる。それでも駄目なときは、市や行政に相談に行くというのが麓郷の風土。しかし、我々の努力にも限りがあるので、今後、同じようなことが起きたとき、予想外の出費が生じたときは充当するような基金を積み立てることも地域としても考えなければならない。市としての考え方を教えてほしい。 ○宝くじの助成事業やコミュニティ、町内会向けの補助について説明してもらいたい。	○施設の利用について、地域でご尽力いただき、自主的な動きにもお礼を申し上げます。コロナの感染対策について、地域会館を利用するときに必要な資材をどうするかですが、施設では体温チェックも必要になってきます。地域のコミュニティを作っていく施設の利用は、利用しやすいような取り組みをしていきたいと思っています。必要なものを全て行政で対応するというのは難しいと思いますが、行政として取り組めるものは支援していきたいと思っていますので、気兼ねなく市民協働課に相談してほしいと思います。 ○地域活動に助成しているものでは、東部第 2 町内会で盆踊りのやぐら、はっぴ、太鼓、机を地域活動で必要ということで申請を受け付けて補助しています。毎年 1 団体ずつ補助をしていますので、地域コミュニティに関連したものは企画振興課に相談してください。

農業（担い手）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○麓郷地区は8割くらいが農業従事者で、毎年、離農する人がいる。50年前に比べると麓郷の人口が半分以上に減っている。市として農家の担い手対策でどのような施策を考えているのか教えてほしい。 ○麓郷地区は開拓者から2世代、3世代と来ている。これが麓郷の財産で農業の技術が失われているのが残念。本州の行政が行う農業の取り組みと比べると、全く違うという話を聞く。どんどん淘汰されていく。食料自給率が下がっているのも問題。農地を無駄にすることなく、市で取り組んでほしい。	○農業担い手センターを設置して、農業後継者や担い手になる人の研修をしています。人数は少ないですが、着実に経営として成り立つぐらいまで成長しています。担い手センターで研修した人は東山と山部に就農しています。地域で受け入れる体制を既存農家の方々が指導したり、作業を協力してもらうことで受け皿を作っています。麓郷でも協力体制を作ってもらえれば、地域に入ることが可能になります。また、市の人口対策では、総合計画と総合戦略の中で様々な取り組みを進めています。基本はまちや地域の魅力で、そういうものが新たに富良野に住んでもらえる推進力になると思っています。魅力作りの一環としては、ICTを活用して利便性の高い、そして住みやすいまちを作っていこう、その理念のもとで様々な施策を出していく中で、まちの魅力もつくる、情報発信をしていくことになると思います。ワーケーションやテレワークで関係人口を増やしていく取り組みもしています。富良野という土地柄に関心を持ってもらい、個人や企業に好感触を持ってもらい、将来的に人口対策につなげていく取り組みを進めています。 ○担い手育成機構が中心となって農業の担い手を育成しています。東山地域のミニトマト、山部地域のメロン、2つの品目について研修を受けてもらい、農業で自立するような研修を受けて、地域に入ってもらいます。研修生の確保が課題ですが、地域と品目を指定していることや2人必要なこと、年齢や資金面の

	課題が考えられます。現在、こうした条件を少しでも緩和できないか検討を進めているところです。品目を増やした場合、地域の協力体制や機械の関係も考える必要があります。兼業で農家をしたいという人を地域で受け入れることができるのかという話も出ています。市では、少しでも新しく入ってくれる人を確保するため、検討を進めているところです。 ○基幹産業は農業と観光ということで経済を積み上げてきました。しかし、人口減少は歯止めがかからない状況で、この地域が持っている農業の技術や思いを伝承していくには、スマート農業のように、栽培管理をドローンやコンピューターの中にデータとして入れることで蓄積することで、技術の伝承が可能だと思っています。データに基づいた農業に従事することで、人によって収量や品質が違うということもなくなり、平準化した中で作物栽培ができるようになると思っています。農業に対する振興策について、引き続き努めていきたいと考えています。
--	--

農業（野焼き）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○上川総合振興局が焼却すると罰金が科せられるという内容のパンフレットを配った。問い合わせると、産業廃棄物の関係で、農家が焼却するものは各市町村が対応すると言われた。病害虫の防除であれば全戸農家が焼却する必要があるが、野焼きをしているのは一部の農家だけ。煙が家の中に入ってくるし、環境問題を考えても焼却しない方が良い。東部	○沿線市町村の農業担当者会議があるので話題提供し、野焼きの実態を把握して必要な対応をしていきたいと思っています。

地区には焼却している農家はいないし富良野市では少ない。上富良野、中富良野も含めて広域行政で対応してもらいたい。	
---	--

観光

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○原始の泉の管理について、土地は農林課、管理は商工観光課が対応していると聞いた。植林をした樹木が大きくなり、ゴミの不法投棄がある。自主的にゴミを集めたり、枝を剪定している。事故を防ぐためにも、少しでも見通しを良くしてほしい。 ○原始の泉にキャンピングカーやテントで泊まる人もいる。ゴミの不法投棄も目立つ。立て看板を設置して、そういう場所じゃないと周知してほしい。	○原始の泉の管理は、これまでは有志の方々や地域の方が草刈りなどをしていましたが、令和3年度からは布礼別森林愛護組合の協力をいただいて草刈の対応をしています。植林地の管理は、内部で協議して対応したいと思います。ゴミの不法投棄は随時、商工観光課で対応していますので、情報を寄せていただきたいと思います。 ○立て看板、観光協会のホームページ、SNSなど、有効な手段で周知したいと思います。

道路

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○平成28年8月の台風で被害の出た道路の復旧について進捗状況を聞きたい。	○布礼別市街から扇山に抜ける道路で、現在は門扉を付けて通行止めになっています。布礼別川添線という市道です。平成28年の災害のときに道路の大部分が川の氾濫でなくなりました。地域説明会で復旧には約10億円かかり難しいと説明しています。ほとんどが河川敷の中に道路があり、大雨が来ると流されるのは明らかなことから、北海道へは布礼別川の整備として要望しているところです。

【市長 閉会のあいさつ】

地域の課題や問題については、改善に向けて努めたいと思います。地域懇談会のほかにも、行政は常に皆さんからの相談を受け付ける窓口があります。市役所に来ていただき、気が付いたことは意見を出してほしいと思います。年の瀬を迎え、コロナで大変な年でしたが、これから人の往来の制約も若干解除されると思いますので、そうした動きを進めて、年の暮れには次の年に期待を持ちながら過ごせる。そんな1年のくくりになってほしいと思います。真剣に議論をいただきましたことに心からお礼を申し上げます。

【参加者アンケートの主なご意見】

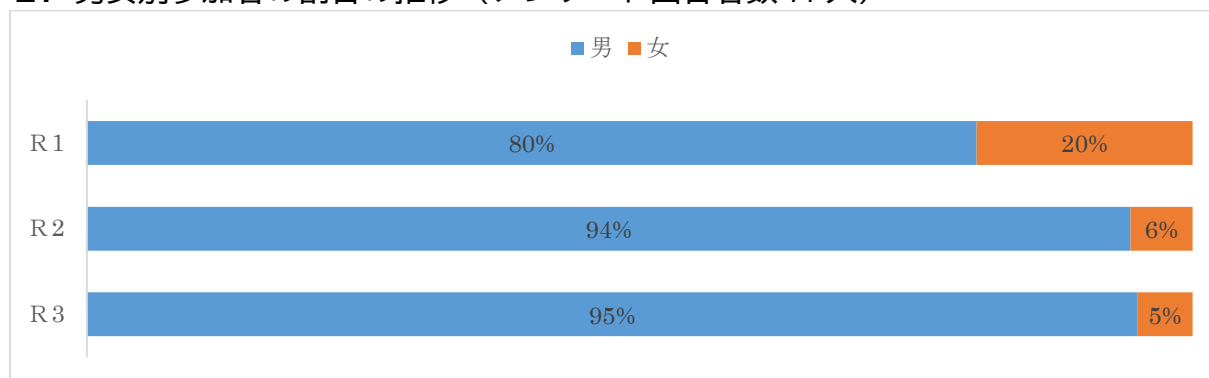
年齢区分	性別	ご意見
50-59 歳	男性	麓郷の子どもたち（小中学生）は冬季スポーツとしてクロスカントリースキーをしています。以前より保護者の負担感が強くなっていますので、引き続きコース整備などへのご配慮をお願いします。
60-69 歳	男性	シカ柵の内側でシカが増え続けている。群れをつくって食害がはげしい。麓郷街道もシカが多発して危険。なんとかしてほしい。

令和3年度「地域懇談会」アンケート集計結果

1. 参加者数

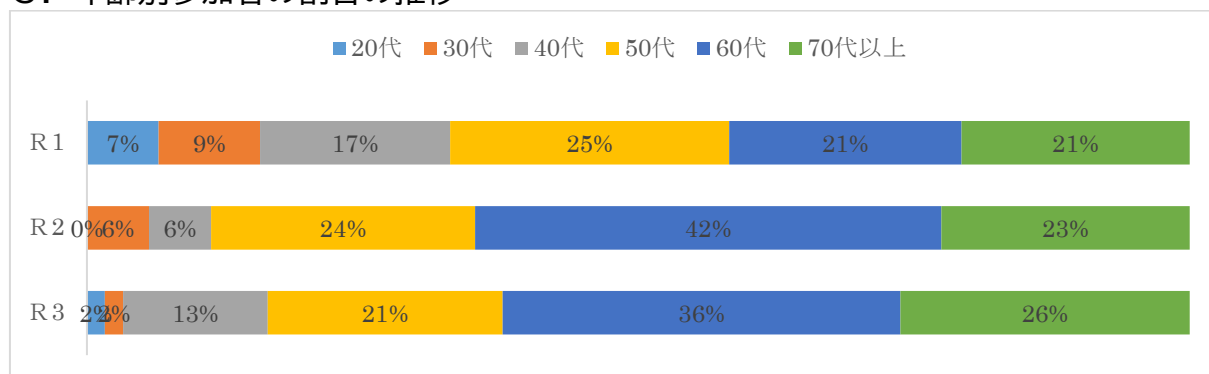
	場所	地区名	H30	R 1	R 2	R3
10/21	文化会館	朝日会館	29	24	20	11
		栄町コミセン	30	33		
		北の峰コミセン	28	26		
		西地区コミセン	56	52		
		末広コミセン	40	42		
10/20	ふれあいセンター	布部会館	23	26	7	7
		鳥沼会館	38	28		
		東春コミセン	29	22		
		南コミセン	51	32		
		瑞穂コミセン	55	21		
		麻町児童センター	27	29		
10/27	山部福祉センター	山部福祉センター	24	22	18	17
10/28	東山支所	東山支所	32	40	24	27
10/26	麓郷集落センター	麓郷集落センター	34	39	10	15
		布礼別集落センター	27	17		
計			523 人	453 人	79 人	77 人

2. 男女別参加者の割合の推移（アンケート回答者数 71 人）



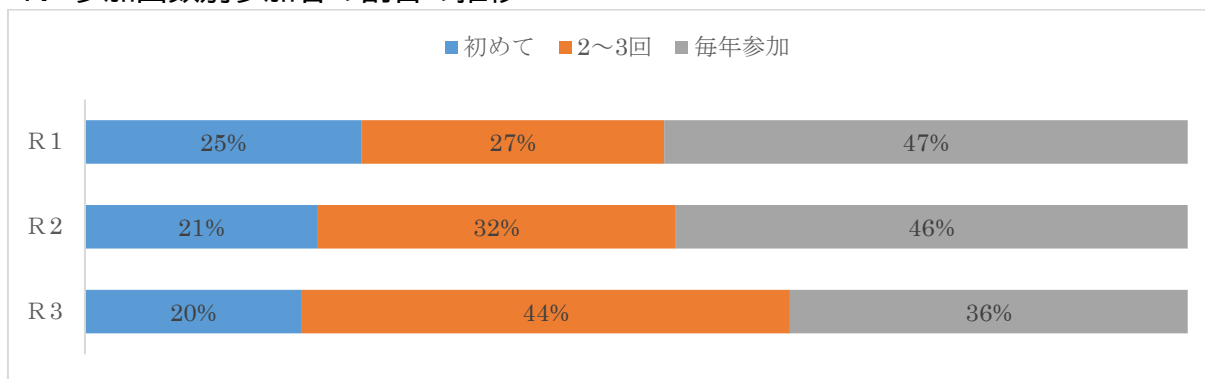
男女比率は昨年度と同程度

3. 年齢別参加者の割合の推移



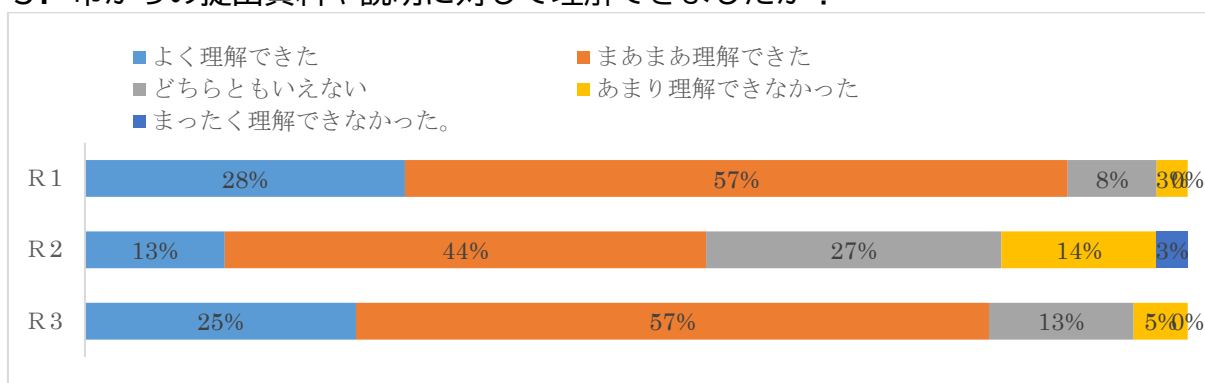
60歳代以上が52%。50歳代の現役世代は48%の割合

4. 参加回数別参加者の割合の推移



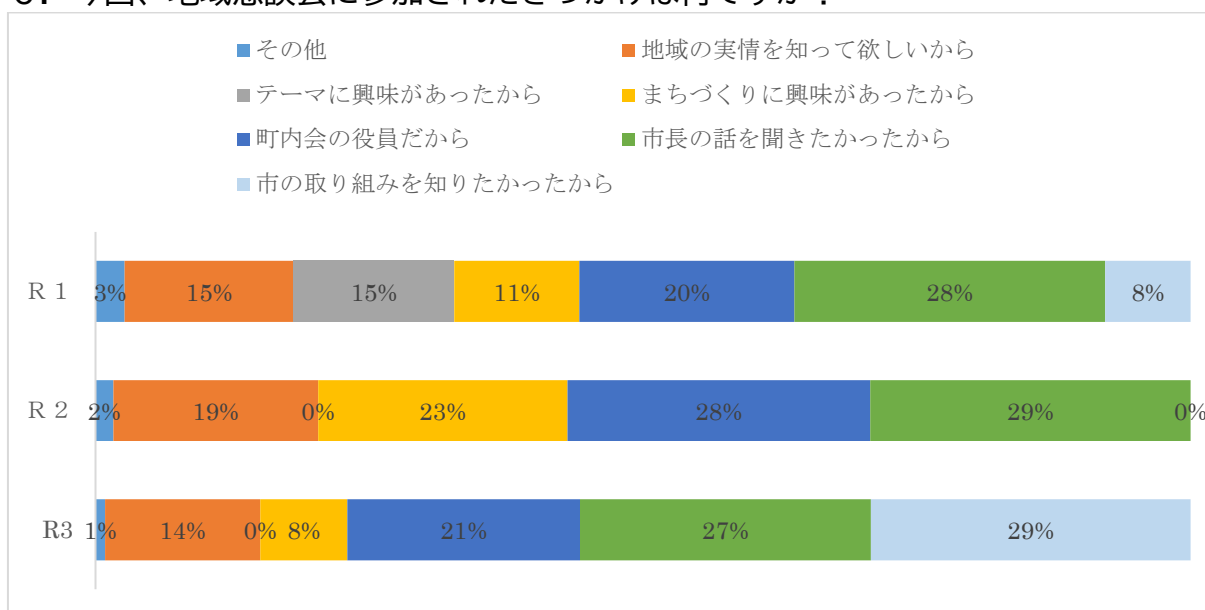
2～3回参加の割合が44%と最も多い

5. 市からの提出資料や説明に対して理解できましたか？



理解できなかった5%に対し、理解できたが82%と高い割合となった

6. 今回、地域懇談会に参加されたきっかけは何ですか？



「市の取り組みを知りたかった」が29%と最も高く、「市長の話を聞きたかった」は27%、「町内会役員」は21%だった。